

令和3年度「近いがうまい埼玉産」地産地消推進会議 質疑・意見と回答		
1 令和3年度県域における地産地消運動の取組方向について		
	質疑・意見	回答
1	当協議会としても、11月の地産地消月間のPRに務めてまいります(埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会)。	地産地消月間時におけるPRの御協力ありがとうございます。今年度も引き続き、地産地消月間キャンペーンを実施してまいりますので、御協力のほどよろしくお願いいたします(事務局)。
2	【3 消費者などの要望に応えられる多様な流通ルートづくり】について 「県産農産物コーナーを新たに追加した店舗数」(25店舗)が目標に設定されています。 当連合会の会員市場では、市場が提案者となって産地と量販店等と協議を進め、県産農産物コーナーを設置する動きも出ておりますので、連携して取組みを進めたいと考えます(一般社団法人埼玉県青果市場連合会)。	ご提案ありがとうございます。市場と産地、量販店、県が連携することが、更なる県産農産物コーナー設置には不可欠ですので、引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします(事務局)。
3	「SAITAMAわっしょい！」県ホームページのトップにあることで目立ち興味を持っていただき、県内の直売所情報にもたどり着くことができたり等充実されて良い(埼玉県地域婦人連合会)。	ご意見ありがとうございます。県では地産地消運動の推進に向けて、引き続き県民へのPRを実施してまいります(事務局)。
4	6次産業化の推進が進み、農家の収入アップにつながることで若者の就農につながるとよいと思います。 学校ファームの取組はうまく続いているのでしょうか(さいたま市消費者団体連絡会)。	ご意見ありがとうございます。県では引き続き6次産業化の推進に務めてまいりますので、御協力のほどよろしくお願いいたします(事務局)。 ほぼすべての県内公立小・中学校に学校ファームが設置されていることを確認しています。また、県ではJAグループさいたまと連携して学校ファームの取組を支援しており、毎年度行っている種苗などの提供については、多くの学校から要望があり、令和3年度も968校に提供する予定となっております(農業ビジネス支援課)。
5	学校給食に産地のものを使ってほしいという声が子育て世代から寄せられているので地場農産物の利用拡大は是非力をいれてほしい(新日本婦人の会埼玉県本部)。	ご意見ありがとうございます。県では市町村や関係団体等と連携して、引き続き学校給食における地場農産物の利用拡大を図ってまいります(事務局)。
2 令和2年度の取組実績について		
(1) 令和2年度県域及び地域における地産地消の取組について		
1	新型コロナウイルスが終息していない中での様々な取組に対して敬服いたします(全国農業協同組合連合会埼玉県本部)。	ご意見ありがとうございます。県では引き続き、新しい生活様式に対応した取組を実施してまいります(事務局)。
2 令和2年度の取組実績について		
(2) 令和2年度各団体における地産地消の取組について		
1	コロナ禍の中で「栄養士会」さんが親子おにぎり教室、親子クッキングを実施していますが、どのような方法で行ったのか知りたいです(埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会)。	2020年度はコロナ禍のため、親子おにぎり教室・親子クッキングの実施は中止となりました(埼玉県栄養士会)。 埼玉県栄養士会様に確認のうえ、「資料3 各団体における取組」該当部分の記載を削除しました(事務局)。
3 そのほか、県への要望など、ご意見があればご記載ください。		
1	調理師会・栄養士会で県産農畜産物を使った健康メニュー(レシピ)を作成していただく。 体質改善(骨密度や減量等)に向けた健康チャレンジを企画し、県民の方に参加(〇〇名募集)をしていただき改善数値を競う。 このような取組が出来たら楽しく生活習慣の改善が出来ると思います(全国農業協同組合連合会埼玉県本部)。	ご提案ありがとうございます。県では埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会が作成した「埼玉県コバトン健康メニュー」のレシピの紹介等を行っています。 県産農産物を使用した生活習慣の改善に向けた取組については引き続き検討してまいります(事務局)。
2	表彰行事(彩の国森林・林業表彰)につきましては、よろしくお取り計らいくださいますようお願いいたします(埼玉県森林組合連合会)。	ご意見ありがとうございます。担当課と調整し、しっかりと対応させていただきます(事務局)。
3	コロナ禍の中、大きなイベントなどの開催は難しいと思いますが、小規模でもPRできることを増やして欲しいと思います。特に畜産物は都市部での流通量が少ないと思います(さいたま市消費者団体連絡会)。	ご意見ありがとうございます。県では引き続き新しい生活様式に対応した取組やPR等について機会を捉えつつ検討してまいります(事務局)。